

たかむくのまちづくり

協議会
広報紙

No.35

世帯数 2,803戸
人口 7,660人
男 3,761人
女 3,899人
R5.2.28 現在

目次

- p2~3 クリスマスコンサート、みそ作りほか
- p4 ふるさと歴史講座、歴史文化講演会
- p5 令和5年度区長会紹介、まちづくりカレッジ発表会
- p6 令和5年度開講コメン講座お知らせほか
- p7 たかむく歴史がたり
- p8 たかむくまめ知識、防災力UPミニ講座ほか



高椋地区出身の丸岡高校生（坂井市まちづくりカレッジにて）

たかむくのまちづくり

第35号 R5.3.22

まちづくり協議会に対するご意見は
たかむくのまちづくり協議会事務局まで

F910-0242（電話コミュニティセンター内）
福井県坂井市丸岡町西里丸岡12-21-1
TEL (0776) 68-0843
takaboko-cc@city.fukui-sakai.jp

防災力UP!ミニ講座 第9回

共助の必要性

昨年8月に起きた今庄地区の豪雨災害で、地域住民による命を守る行動により、一人の犠牲者も出さず全員避難できました。ハザードマップの活用と普段から身を守る方法を理解していた結果です。

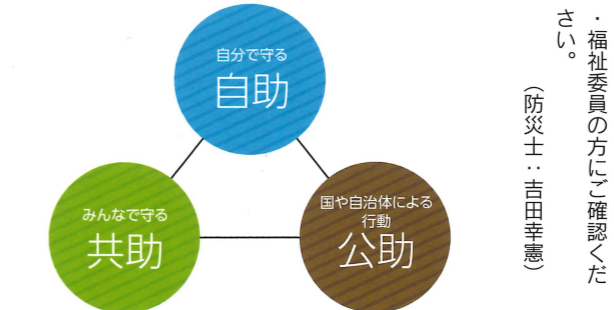
一旦災害が発生すると、必ず連鎖が起こりパニック状態に陥ってしまいます。被災者になる前に命を守る対策を考えましょう。そこで必要なのが次に挙げる「共助」です。

①自主防災組織を結成する
地域の住民が防災活動を実施するために自発的に結成する

②災害時に配慮が必要な方への支援が必要
配慮が必要な方とはどんな方かというところ

③隣近所や気がかりな方に危険を知らせる

④一緒に逃げる・備品をシェアする



難することが困難な方で、円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する方

・福祉委員の方にご確認ください。
（防災士・吉田幸恵）

①自主防災組織を結成する
地域の住民が防災活動を実施するために自発的に結成する

②災害時に配慮が必要な方への支援が必要
配慮が必要な方とはどんな方かというところ

③隣近所や気がかりな方に危険を知らせる

④一緒に逃げる・備品をシェアする

（ワンポイント）避難行動要支援者制度の取り組みについて

従来の登録様式が一部変更され、個別避難計画作成については市役所・社会福祉協議会で案内しています。詳しいことは各区長・民生児童委員

白山参詣曼荼羅絵図
（國神社所蔵）
國神社は、丸岡街内と西瓜屋や西里丸岡の氏神様である。この神社の秘宝の「白山参詣曼荼羅絵図」が福井県指定文化財に登録されている。この絵図には九頭竜川畔から勝山平泉寺を経て、白山山頂へと至る道行きが描かれた室町時代の絹本着色絵画（額装）である。白山修行者はまず馬場という拠点（平泉寺白

山神社）に集合し、最初に神々に祈りを捧げ、白山登山支度を整えて、越前禅定道から山頂を目指していた。絵図の下半に中世の平泉寺の伽藍と、そこに神々の姿が描かれていることから、神仏習合時代の白山信仰がみえてくる貴重な絵画である。
（松本盛博・記）



山神社）に集合し、最初に神々に祈りを捧げ、白山登山支度を整えて、越前禅定道から山頂を目指していた。絵図の下半に中世の平泉寺の伽藍と、そこに神々の姿が描かれていることから、神仏習合時代の白山信仰がみえてくる貴重な絵画である。
（松本盛博・記）

（絵図のサイズ 縦152・8センチ×幅78センチ）
福井県指定文化財・平成26年3月26日指定

まち協あんしん部会 高椋小の6年生にワイヤーロック贈呈

あんしん部会では、3月8日（水）高椋小学校において、3月に卒業する6年生の児童全員に卒業記念として自転車用ワイヤーロックを贈呈しました。この事業は平成25年度から行っており、今年で10年目になります。最初にワイヤーロックを受け取った子はもう成人になっているのかと思うと感慨深いです。今年プレゼントした子どもたちが中学生になっても元気で頑張ってほしいと願いながら学校を後にしました。



編集後記

コロナ禍もいよいよ終息かという状況になりました。三年続いたマスク生活で学生さんは同級生の顔をよく知らないというようなどともあるとか。この三年間のまち協広報紙を見返してもどの写真も皆さんマスク・マスク・マスク。新興感染症のパンデミックは歴史的に繰り返すものなのですが、街中で子どもたちの笑顔を見ることができなかった日々はもう二度と体験したくないですね。
（K）

ついに始まったWBC、十三日現在で四戦四勝、一次リーグ戦突破して準々決勝進出、何と素晴らしいことでしょう。そして、その中には福井県出身の選手が二人もいるではありませんか、それも大活躍です。侍ジャパン 悲願の世界一が目の前。二十二日の決勝戦が今から楽しみです。

それとも一つ、十八日から始まる選抜高校野球です、福井県代表は北陸高校と敦賀気比高校が出場します。相手は全国屈指の強豪校です。一回戦から目が離せません。コロナ対策が緩和されて、声を出しての応援ができるようになりました、さぞかし賑やかな応援になることでしょう。

もうすぐ桜が咲きますが、今年は例年よりかなり早く咲くようです、ライトアップされたお城の夜桜も綺麗でしょうね。（晃）

クリスマスコンサート開催される



十二月十七日(土)、たかむく古城ホールにて「クリスマスふれあいコンサート」が開催されました。コロナ禍で発表の機会が減ってしまった、高松地区で活動されている団体さんにお声がけし、古城ホールの大きなステージでパフォーマンスをしていただき、地区住民の皆さんと楽しくふれあえる場が持てればと思っております。

当日は沢山の方に来場いただき、丸岡中学校吹奏楽部の堂々とした演奏や、今福保育園児による可愛い演技、そしてこれまで地道に練習を重ねてこられた各種団体のクリスマスメドレーを含めた合唱などが披露され、最後に全員で「ふるさと」を合唱しました。出演していただいた皆様ありがとうございました。

また、クリスマスまでには一週間早い開催でしたが、あわてんぼうのサンタクロースも登場し、最後にはやさやかなクリスマスプレゼントを配るなど、和やかな雰囲気での開催となりました。今年の十二月にも第二回のクリスマスふれあいコンサートを開催したいと思っております。

ふれあい部会長 種田豊秋

楽しかった “みそ作り”体験

平成二十年から始めた「高松小学校児童とのみそ作り体験」も、今年で十五回目を迎えました。今年は一月十八日にみその仕込み作業を行いました。

子どもたちは五感をフル回転して、発見、驚き、感動、喜び等の気持ちを発信してくれました。本当にワンダフルなライブ体験が出来たことに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます！

ふれあい部会 大霜 範子



参加した子供たちのコメント

大豆と塩と米こうじに、あめ(大豆の煮汁)を混ぜて、9月頃まで涼しいところに置いておくときさらないのかなあと思ったけど、ほんとうという力でおいしいみそになる事がわかりびっくりしました。

チョッパーという道具でつぶすと、ハンバーグのものとひき肉みたいだった。さわってみたらプニョプニョしていて大豆のいいにおいがした。

楽しかったのは、つぶしたみそをボールにして「おいしくなあれ」と言って容器にバシッ!と投げ入れたこと。

ぼくは春に九州へ引っ越すけど、今日はめったに出来ないみそ作りをみんなと出来て、いい思い出になったのでうれしかった。

今日は色々教えてくれてありがとうございました。私たちも、皆さんを応援しているのでがんばってください。



花育グループ わたしの推し花

パンジー・ビオラ

花は明るい色から落ち着いた色まであります。花びらに模様が出たりフリルがあったりとバリエーションも豊かで可愛さいっぱい。お日様と水、適度な栄養があれば育てやすい花です。

暑さには弱いですが、暑さを超えて育った苗は晩秋から花が咲き始めます。秋に芽を出した小さな苗は、冬の寒さに耐え春になって大きく育っていきます。

長い期間次々と花を咲かせるなど生命力の強さも魅力です。高松コミセン玄関では「よく咲くスマレ」と「ももか」の品種を育てています。



歴史文化部会だより

地区の垣根を超えた活動をするさと歴史講座 開催



以前から私は、丸岡地区のまちづくり協議会歴史関係部会の連携を考えていました。各まちづくり協議会が発足して15年、その間自分の地域の歴史を掘り起こし地域の皆さんに発信してきたことと思います。

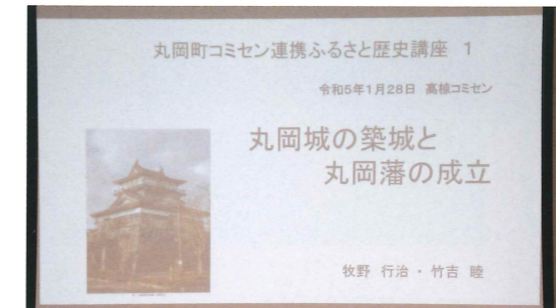
今、丸岡は「丸岡城を国宝に」ということで市民団体が活動しています。私は丸岡の良さを丸岡地区のまちづくり協議会全体で学べたらと思い、この講座開催に踏み切りました。

最初は城のまちづくり協議会の、城丸部会部会長の協力のもと第1回の開催が大雪中実施されました。タイトルは丸岡城に関わるお話です。参加された方はとても興味深く聞き入っていました。講師2名によるお話の構成がとてもよく、2時間があつという間に過ぎてしまいました。

この企画は4シリーズで実施していく計画になっています。1回目は、城のまちづくり協議会の協力を得ましたが、2回目以降は丸岡地区内のまちづくり協議会に声かけして多くの皆さんが参加して頂けるようお願いしています。

このシリーズが終わりましたら、丸岡町内の歴史を取り上げていきたいと思っています。乞うご期待下さい。

歴史文化部会長 金崎昭雄



歴史文化講演会 舟寄から縄文土器が発掘された!



歴史文化部会では、今年度も様々な活動を行いました。その中から昨年の11月26日に行いました歴史文化講演会を紹介します。

講師には、福井県埋蔵文化財センター主任研究員の、御嶽貞義先生をお招きして講演をして頂きました。ここで私は何かしらの縁を感じました。先生の名前を逆にすると、称念寺に眠る新田義貞公の名前になるではありませんか〜

演題は、舟寄遺跡から見る縄文時代の暮らしと題して、話を頂きました。この地には、今から約5000年前の人々の生活の痕跡が見つかりました。世界では「エジプト」「メソポタミア」文明が興る時期と重なります。最も興味深かったのは、写真にある遺跡から発掘された深鉢型の縄文土器です。今後これらの現物は観る機会はないとのこと。沢山の人の見てもらえたことは、我々部会員として喜びに堪えません、ありがとうございました。

歴史文化部会 辻 晃市



令和5年高椋地区区長会紹介

去る一月十六日(月)、高椋コミュニティセンターにおいて、令和五年の高椋地区初区長会が開催され、今年の区長会役員が決定しました。

役員及び各区の区長さんをご紹介します。今年一年、どうぞよろしくお願いいたします。

役員

- 会長：武田 正治 理事：田端 正美
- 副会長：高良 昭典 理事：石丸日出夫
- 副会長：山口 功治 監事：杉野 秀治
- 理事：谷口 善生 監事：松尾 利昭

各区区長

- 西瓜屋1の1：道見 義徳
- 西瓜屋1の2：上野 正博
- 西瓜屋1の3：角谷 周平
- 西瓜屋2区：杉野 秀治
- 西瓜屋3区：石川 誠栄
- 西里丸岡1区：谷口 善生
- 西里丸岡2区：谷間 正晃
- 西里丸岡3区：高良 昭典
- ニユー一本田：反保 紀美
- 一本田新1区：山本百合子
- 一本田新2区：早瀬富美江
- 一本田新3区：山田 勘司
- 一本田新4区：釣部慎一郎
- 一本田中：笠松 義弘
- 一本田：宮平 恒之
- 笹和田：北村 孝之
- 舟寄1区：齋藤 弘和
- 舟寄2区：柳原 明仁
- 舟寄3区：松川喜一郎
- 舟寄4区：武田 正治
- 舟寄5区：八杉 博行
- 舟寄新：鶴飼 政浩
- 長崎：田端 正美
- 長崎新：木本 英邦
- 共栄：倉内 敏行
- 今福2区：山口 功治
- 今福1区：松尾 利昭
- 高柳2区：高橋 一博
- 高柳1区：渡邊 薫
- 八ツ口：北出 功治
- 吉国：吉田 正浩
- 吉国政：岩田 良治
- 寅北：高井 慶治
- 竜泉：浅見 容子
- 猪爪新1区：柴本 一雄
- 猪爪新2区：新井 純哲
- 猪爪新3区：石丸日出夫
- 猪爪新3区：杉原一二三



まちづくりカレッジ受講生発表会開催される

「地域課題の解決や地域の将来を考えるプランニングを共に学びあい、まちへの思いを行動につなげる場」となる坂井市まちづくりカレッジが昨年六月に開講しました。

第六期となる今年度は、まちづくり協議会やコミュニティセンター、丸岡高校生など四十四人が参加し、各地域の課題解決について学びました。その学習の成果発表会が二月五日(日)、たかむく古城ホールにて開催されました。

高椋地区のまちカレ発表を聞いて

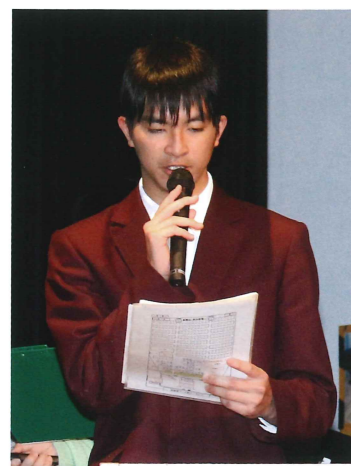
私が高椋地区の方々に関わりながら業務を始めて約一年となりました。その中で日々感じていたことは、まち協には、話の面白さにセンスが光る人、口は悪いが独特の言い回しで場を和ませる人、半端ない熱量で地域の歴史を愛している人、周りからやりすぎだと注意されるくらい人の世話を焼くことが大好きな人、地域ボランティアや防災について熱心な人、食や花のスペシャリストたち・・・年齢を問わず素晴らしい「人材」や、まちの中心にあり福祉や行政機関が身近にある好条件にの地区なのに、何か勿体無いということです。

今回の高椋地区のまちカレの発表でも、良いところが活かしきれない、担い手がいないといった課題があがっていました。高椋地区のグループ内に丸岡高校の武田君が加わり、「ボランティアが活発でみんなが担い手のまち」についての熱い思いを語っていました。

武田君の話聞いて、私は来年度の高椋地区の毎年行っている行事も例年通りの中身ではなく、グッと濃くなった内容になると確信しました。高校生という無限大の可能性を持った子たちのフレッシュなパワーを最大限に活かしてあげられるのは、これまでの高椋のまちづくりに関わってきた大人たちのサポートやバックアップです。

新たなルーキーたちをみんな温かく迎え入れ、高椋地区のコミュニティの幅も広げ、「新時代」を創りたいですね。

高椋コミュニティ



令和5年高椋地区初区長会



令和5年度 高椋・高椋西部コミセン定期講座のご案内

プレママ・育児中ママ対象！ おんぶde♪だっこde♪お菓子づくり

ママさん同士で楽しく子育てのことなどをお話しながら、自宅で作れる美味しいお菓子づくりをしませんか。お子さん連れの参加も大歓迎です！プレママ・育児中ママ対象！

会場 高椋コミセン TEL68-0843
定員 10人
講師 さなえ(料理研究家(栄養士))
日時 5月26日から第4金曜日(5~8月まで)
全4回 10時から11時30分まで
受講料 年800円(材料費2000円)



アンチエイジング ヨーガセラピー

短期集中で、自分の体の不調に気づいたり、メンタルヘルスケア効果を実感してストレスフリーな心身の健康づくりとアンチエイジングを目指しましょう♪

会場 高椋コミセン TEL68-0843
定員 10人
講師 木谷博子(認定ヨーガ療法士)
日時 5月10日から毎週水曜(5~9月まで)
全20回 19時から20時まで
受講料 年4,000円



初めてのスマホ教室

基本的なことからインターネットの利用方法、カメラやアプリなど、簡単・便利に使って、楽しく学びましょう♪

会場 高椋西部コミセン TEL66-0047
定員 12人
講師 専門講師
日時 5月10日から第2・4水曜日(5~7月) 全6回
13時30分から15時15時まで
受講料 年1,200円(テキスト代別途)



申込み受付開始は
4月13日(木)から。
(申込み・問合せは
各コミセンへ)

ヴィーガン料理と米粉スイーツ

肉や魚、卵や乳製品などの動物性食材を使わずに作るヘルシーなお料理です。 ※スイーツは一部乳製品使用。

会場 高椋西部コミセン TEL66-0047
定員 12人
講師 松村佳子(お菓子教室リボン主宰)
日時 5月23日から第4火曜日(5~9月)
全5回 10時から12時30分まで
受講料 年1,000円(材料費別途)



美文字ペン講座

ボールペンを使用して、綺麗な文字を集中して書いてみましょう！綺麗な字は、一生のスキルにもなり、印象アップにも繋がりますよ♪

会場 高椋コミセン TEL68-0843
定員 10人
講師 津田深扇(県書作家協会員)
日時 5月12日から第2・4金曜日(5~12月)
全13回 10時から11時まで
受講料 年2,600円(材料費別途)



高椋コミュニティセンターでは、講座以外にもこんなことをやっています

申込み不要・お問い合わせは高椋コミセン(Tel.68-0843)まで

たかぼこスマホカフェ

スマホの基本的な使い方や、日頃使っているお悩みなどを、お茶を飲みながら気軽に相談できます。スマホを使ったことがない人も参加OKです。おしゃべりしながら楽しい時間を過ごしましょう。

会場 高椋コミセン TEL68-0843
日時 第3木曜日 13時30分から15時30分まで
参加費 1回100円



オレンジカフェたかぼこ

おしゃべりしたり、レクリエーションや健康づくり教室など、認知症の方と地域の人との交流をはかり、「なじみの関係」を作っています。高椋地区のみならずもお気軽にご参加ください。

会場 高椋コミセン TEL68-0843
日時 第1・3水曜日 13時30分から15時まで
参加費 1回100円



「たかむく歴史がたり」第五回 一本田中の不動院と朝日町福通寺朝日観音堂の梵鐘

歴史文化部会 吉田 昭宣

越前町西田中の福通寺朝日観音堂の梵鐘は丸岡町久米田君久山の不動院に深いかかりのある梵鐘です。この梵鐘の由来が貞享三年(一六八八)今から三三七年前の銘として梵鐘に印刻(図①)されています。

果たしてこの梵鐘の発願者は誰だったのでしょうか？

貞享三年には、すでに神仏に深く帰依していた第3代藩主本多重昭はなくなり、第4代藩主本多重益の時代となっています。図①の印刻では、住持快秀が浄財を集めて鑄造したと印刻されています。重益は二十六歳となっていますが、藩政を家老任せにし、酒色におぼれていた頃ではないか？不動院の梵鐘の鑄造を発願するとは思えないのですが…

それと相反して前の藩主本多重昭の治世下で特徴的なのが、寺社に対する保護と振興で、領内のいくつかの寺社の建立や復興を手がけ、丸岡には重昭にゆかりの深い寺や神社が多く存在しています。

国神社には関連する宝物や古文書があります。また山久保村の好善寺(現受法寺)に深く帰依し、寺格の昇格と寺号獲得に尽力、西本願寺の宗主寂如とも積極的な音信を取り交わしたことが



10 朝日観音堂梵鐘・銘(部分) (355頁参照)

など、神仏を深く信仰し善政を行っていたのだろうと思います。このようなことから、酒食におぼれていた重益が梵鐘を発願したとは思えないのです。おそらく前の藩主重昭が健在の頃に重昭の願いで、君久山の不動院の梵鐘の鑄造はすでに行われていたのかもしれない。それとも君久山不動院の住持比丘快秀が、前の藩主死後その意思を継ぎ、重昭の願いを実現させようと思いついたのでしょうか。

発願者が誰であるか明確ではありませんが、いずれにしても、君久山不動院の住持比丘快秀が一念発起して浄財を集め、加賀の名工宮崎彦九郎寒雉の手により梵鐘が鑄造されたのではないかと考えられます。

貞享三年(一六八八)の銘文が刻印されています。銘文には不動院の梵鐘として作られた思いが刻まれています。ところが鑄造半ばで、この4代藩主重益のとき改易のきっかけとなる家中騒動が起こります。

重益は、藩政を本多織部らに任せ、酒食におぼれ政治を顧みませんでした。この事態を憂慮した、太田又八ら有志が本多織部一派を退陣させ、重益も隠居に追い込まれました。

家中騒動が続く中、今度は巻き返しをはかる本多織部派らは重益の再起を図り、元禄六年(一六九三年)、重益は徳川將軍のお目見えがかないました。重益が藩主に復帰すると、本多太田又八らに対する報復処罰が始まり、又八は息子と共に入牢となり、断食して相果てました。

ついに騒動が露見し幕府が介入する事態となり、元禄八年(一六八八)取り調べの結果、重益は「家中仕置悪敷、其上来食とめ申付、非道成仕候」との理由で、領地没収のうえ、鳥取新田の池田家へお預け、家老の本多織部父子は切腹となりました。ここに成重以来四代続いた丸岡藩主本多家は改易となり、領地没収、主君お預

け、家老切腹、家臣は離散。本多家は越前から姿を消しました。

このお家騒動が起きたことが原因となったのか、君久山不動院の梵鐘にはなりませんでしたが、引き取り手がなくなり、行く場がなくなった梵鐘は、貞享三年(一六八八)から六年目の元禄五年(一六九〇)によりやく幸若八郎九郎直良によつて引き取られ、朝日観音の梵鐘として寄進されています。

梵鐘もこのお家騒動で予想もしない朝日観音の梵鐘となり、今なおその姿を望むことができる、丸岡藩本多家の歴史を語る梵鐘です。

さらに、戦時中の金属回収も免れています。非常に幸運な梵鐘で、平和な世界を招く梵鐘だと思います。

一方、君久山不動院はその後一本田中に遷座。いままも不動院として祀られる共に、石と木材の調和のとれた境内でも数少ない建造物として貴重な文化財として見直しが求められています。

朝日観音堂梵鐘銘「朝日町史より」
越前湯坂北郡有一字精舎、名君久山日光寺不動院焉
是太守重昭公(本多)草創之勝地也、所安置之本尊者、住持比丘
快秀於城府槐樹下所感得之不動威怒王尊也、唯所恨無洪
鐘之架高樓而共昼誦夜禪之期、於?闍梨快秀大啓福田、
広霧化縁、曩齋功成宝器出模見聞、卓自無不膺喜、請予
為之銘、固辞不逸、適作銘曰
君久住境地接府城、固誓斯植、募縁有生治工用力、洪鐘磨瑣、形剛固々、響洞鏗鏗、淵深心節、誦禪維驚、近分昼夜、遠方報陰晴、功編法界、在一声声
豈貞享三丙寅年宝積比丘会心書

これによれば、この梵鐘は貞享三年に坂北郡下久米田村(丸岡町)の真言宗君久山日光寺不動院の梵鐘として、住持快秀が浄財を集めて鑄造したものでした。(銘文1)

しかし、この梵鐘はその後のいきさつは明らかではありませんが、幸若八郎九郎直良によつて、元禄五年、朝日観音堂の梵鐘として寄進されたものです。

西田中村・朝日村の知行地は桃井直常の嫡裔、幸若義門慶長(十九年没)が神大君徳川家康から賜ったものであること、以来その子孫が相継いで両村の領主となってきたこと、桃井嫡裔直良が朝日観音堂に梵鐘のないのを残念に思い奉納したものであることなどを強調しています。(銘文2)

ご参考
延享三年(一七四〇)の巡検使の問答記録より
下久米田村道端に小山これあり、何山と相尋ねられ候に付、君久山と申し候。
儀間村庄屋 弥三石工門
越前国名蹟考より
下久米田村
北二離山アリ。不動堂アリ。絵図記
以上

